

町の家計簿

昭和五十年(決算)

財政事情の公表

最近の厳しい経済情勢の中で、住みよい町づくりをめざす当町の家計簿(財政)のやりくりはどのような状態であるか……ここに昨年度の決算状況を公表します。

【50年度の一般会計】

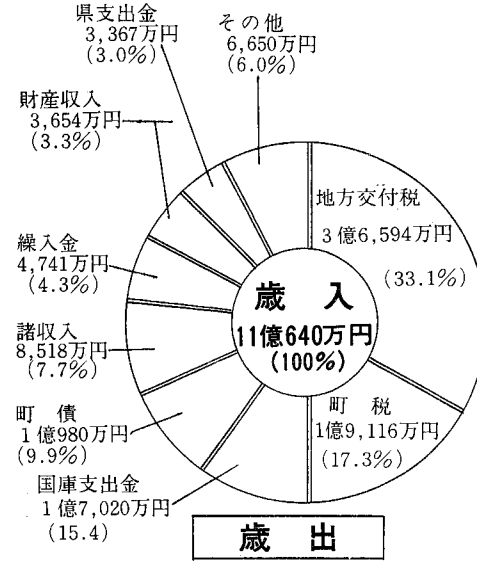
昨年度は①生活環境整備事業、②社会教育施設の充実、③福祉施設の整備、④青少年健全育成の推進——を骨格として、当初九億九千九百万円あまりでスタートした一般会計は、最終的には表のような決算額となりましたが、前年度より約一億五千万円の伸びとなり、九億七千万円あまりの黒字決算となりました。

歳入では、国の補助を受けて実施する補助事業の増嵩により、国庫支出金が七千八百万円、また土地、建物の売払いによる財産収入が一千万九百万円前年度より増加したのがめだちますが、消費約経費

は、できるだけ切り詰めてお

一般会計

歳入総額 11億640万円
歳出総額 10億9,669万円
歳入歳出差引額 971万円
(黒字)



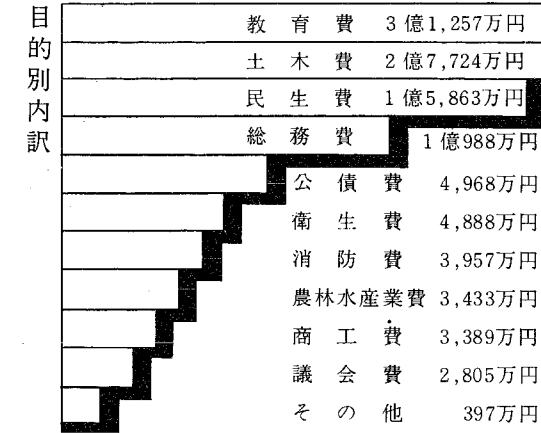
町民1人当たり

一般会計歳出決算額 103,530円
町税負担額 18,046円
うち町民税 7,624円
固定資産税 7,189円
町債(借金) 40,022円

町税

調定額 1億9,710万円
収入済額 1億9,116万円
徴収率 97.0%

町民税 8,076万円
固定資産税 7,615万円



左図の歳出を性質別にみると、建設事業費が4億2,839万円(39.1%)で断然トップを示め続いて、人件費2億7,848万円(25.4%)、物件費1億3,663万円(12.5%)、補助費8,526万円(7.8%)、扶助費5,261万円(4.8%)、公債費4,961万円(4.5%)の順となっていますが、建設事業費の増加(前年度より9,698万円増)がめだちております。

町債(町の借金)の現況

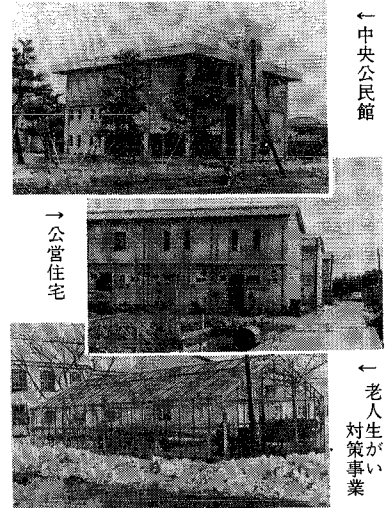
昭和51年5月31日現在 4億2,395万円

大蔵省資金運用部	1億711万円
郵政省簡易保険局	1億2,977万円
新潟県	7,256万円
市中銀行	6,000万円
その他	5,451万円

公営住宅建設	1億142万円	町民体育館建設	2,523万円
公民館建設	7,700万円	保育園建設	2,345万円
町道整備	5,783万円	小中学校建設	2,140万円
都市計画事業	5,056万円	その他	3,992万円
庁舎建設	2,714万円		

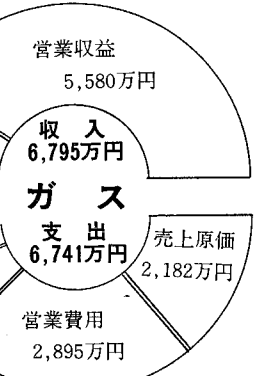
昭和50年度主な建設事業

公民館建設事業(継続)	137,660千円
公営住宅建設事業	72,283千円
老人生活がい対策事業	4,270千円
鎌倉横川1号線改良事業(継続)	12,600千円
町道舗装改良事業	67,403千円
濁端道消雪施設事業	8,700千円
都市街路事業(継続)	20,000千円
小須戸都市下水路事業	35,400千円
南下水路事業	8,700千円
総合グラウンド建設事業	11,100千円



水道事業における当町の給水量は、前年度末よりも四十四栓増えた二六〇五栓となっており、五十年度は夏季高温で降雨も少なく、また冬季間は寒冷の目が多く、凍結防止のため水道が使用されたため、前年度より四・四増の八〇・二・九五〇立方メートルの水が、昭和五十年度は二、九四三立方メートルの大巾な赤字決算となりました。

水道事業会計



損益勘定は次表のとおりですが、水道水使用の増加により前年度より四、九五九千円の増収となりましたが、人件費や水道使用量の増加に伴う電力料、浄水薬品など及び、その他の諸経費の増大により五十年度は二、九四三千円の大巾な赤字決算となりました。

当町のガス事業は、その便さとクリーンなエネルギーとしての価値が買われ、需要は年々順調に伸びており、五十年度末の需要戸数は、前年度末より八十八戸増え二、三〇九戸となりました。

五十年度は、ガスの仕入価額が74%と大巾に値上げされたため、12月1日から40・94%アップの一立方メートル平均54円43銭に料金改訂いたしました。

ガス販売量は、前年度より11・24%の伸びを示し、一、二四七千立方メートルで五千五八〇千立方メートルの売上げになりました。

- #### 図のこぼ
- 営業収益
 - ガス・水道料金収入
 - 営業雑収益
 - 工事代金収入
 - 営業外収益
 - 預金利息ほか雑収入
 - 売上原価
 - 天然ガス購入代
 - 営業費用
 - 職員給与・減価償却費など一般管理費
 - 営業雑費用
 - 受注工事費など
 - 営業外費用
 - 支払い利息ほか雑支出

